

二〇二三年度 東京藝術大学 大学院音楽研究科 (修士) 入学試験 (問題・解答) 用紙
 実施日時：二〇二二年九月二十五日 (日) 十時〇〇分～十二時〇〇分 (二時間〇〇分)

科 目	受験生記入欄		(ア)	(イ)
専攻論文 (音楽文芸)	専攻科 声種	受験番号		
一枚のうち 一枚目	専攻楽器	番		

専攻論文

問 次の文章を読み、傍線部「詩のもっとも大事な機能の一つに、儀式になろうとする衝動がある」について、一二〇〇字程度で論じなさい。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

二〇二三年度 東京藝術大学 大学院音楽研究科（修士） 入学試験（問題・解答）用紙
実施日時：二〇二二年九月二十五日（日） 十時〇〇分～十二時〇〇分（二時間〇〇分）

科目	受験生記入欄		(ア)
専攻論文（音楽文芸）	専攻科声種 専攻楽器	受験番号	(イ)
二枚のうち二枚目		番	

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

阿部公彦『詩的思考のめざめ——心と言葉にほんとうは起きてくること』

東京大学出版会、二〇一四年